

■実施の趣旨

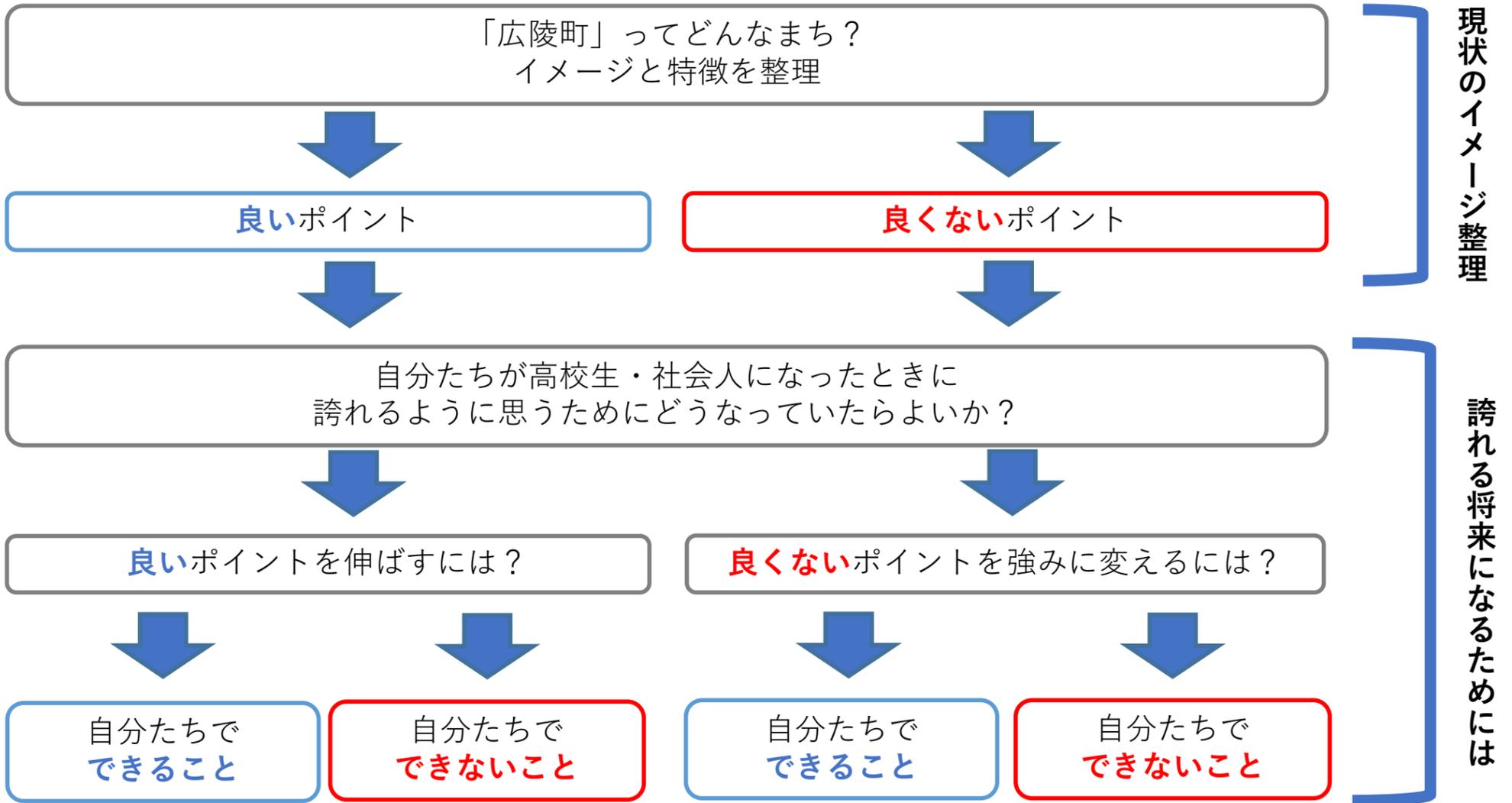
現在策定中の総合計画において、前期計画終了時（4年後）に高校生、基本構想期間終了後（12年後）に多くの方が社会人になる現在の中学生に対して、現在それぞれが持っている「広陵町のイメージや特徴」、「広陵町の良いポイント」、「広陵町の改善ポイント」についてワークショップを実施し、4年後、12年後にどのような町になっていたら自分たちが誇れるのか、を考えてもらう機会とした。

■ワークショップ内容

町内公立中学校2校の生徒会の皆さんとワークショップを実施した。

12月9日：真美ヶ丘中学校

12月14日：広陵中学校



真美ヶ丘中学校 生徒会のみなさん

広陵中学校 生徒会のみなさん



★広陵町のイメージ（良いところ）

- ・ 住みやすい
- ・ コンビニが近い
- ・ スーパーを含む店が多く、充実
- ・ 施設の設備が整っている
- ・ 交通の便がとてもいい
- ・ 元気号！！
- ・ 特産物おいしい
- ・ 靴下が有名
- ・ かぐや姫のイメージ
- ・ みんな親切
- ・ ボランティアに積極的
- ・ スポ少などの地域が運営している団体が多い
- ・ 地域の人々の仲が良い
- ・ 地域の人が見守ってくれている
- ・ 地域交流が深い
- ・ 周りの人がたくさん話しかけてくれる
- ・ 公園が多い
- ・ 公園が小さい子どもでも遊びやすい
- ・ 安心
- ・ 落ち着く
- ・ 明るい
- ・ 楽しい
- ・ やさしい
- ・ 家が多い
- ・ 自然豊か
- ・ 奈良県内で町の面積が広い

★広陵町のイメージ（良くないところ）

- ・ 夜が暗い
- ・ トイレがきたない
- ・ 駅が少ない
- ・ 道が狭い
- ・ 歩道がない道が多い
- ・ 誰でも使えるバスケットゴールがない
- ・ 田んぼが減っている
- ・ 子どもなどが遊べる場所が少ない
- ・ 高田川が氾濫すると洪水が心配
- ・ 野良猫がいる
- ・ 生き物などが少ない
- ・ 大きいスーパーが遠い
- ・ ゲーセンがない
- ・ 習い事などの施設が少ない
- ・ 学校を休んだ人が学習の遅れをとらないようにクロムブックで授業を配信してほしい

★将来どうなっていたらよいか（良いところ：さらに伸ばす、良くないところ：改善する）

- ・ 公園のトイレをきれいに（変質者対策）し、防犯カメラなどをつけ、安全性を高める
- ・ 公園などのグラウンドにバスケットゴール(サッカーや他のスポーツのもの)を設置
- ・ いろいろな年代の人が遊べる公園になってほしい
- ・ 緑が増えてほしい
- ・ 道路整備をし、街灯や信号を増やす
- ・ ガードレールなどで、歩道と車道を区別させる
- ・ 歩行者信号が青の時、音が鳴るようにしてほしい
- ・ 交差点付近の木が伸びて見通しが悪くなっているため定期的に切ってほしい
- ・ 駅に行きやすくなってほしい
- ・ 障がい者向けの施設が少ないため、支援学校を増やしたり、ろう・もう学校へ行くバスを整備する
- ・ 地域の団体が活動しやすいように設備を整ってほしい
- ・ 足りない施設は他の市町村から借りる
- ・ 綺麗なところだけではなく、汚いところにも目を向ける
- ・ みんなが使う施設に魚などの生き物の水槽などを設置し、ふれあえるようにする
- ・ 野良猫にえさを与えない。また、保護施設があるといい
- ・ 大型ショッピングモールがほしい
- ・ 同業者のお店を近くには立地させない
- ・ かぐや姫や靴下などを県外の人にも認知し、有名になってほしい（SNSで発信するなど…）
- ・ 伝統的な文化を増やす
- ・ コストコ来てほしい
- ・ そのままであってほしい
- ・ いろいろな年代の人で見守りができるようになったほしい
- ・ 休んでいても授業が受けられるようになってほしい
- ・ 他の中学校との交流を増やしてほしい

★自分たちができること

- ・ 公園で一人にならない（大人数）
- ・ 夜は公園に行かない
- ・ トイレを掃除する
- ・ 緑を増やすためガーデニングをしてみる
- ・ ライトを持ち歩く
- ・ 暗くなる前に帰る
- ・ 夜は明るい色の服を着る
- ・ 交通ルールを身に付ける
- ・ 互いに交通ルールを守る
- ・ バス停にマップ（わかりやすい）を貼る
- ・ 駅への行き方を教えられるようになる
- ・ 町の靴下を買うようにする
- ・ 広陵町以外に住んでいる友達にお勧めしてみる
- ・ まずは自分たちが体験して体験談をいろんな人に伝える
- ・ 見守り活動を自分自身も行い、親にすすめてみる
- ・ 地球温暖化について考える
- ・ 省エネを心がける
- ・ 中学生同士の交流の場があるといい。生徒会同士が交流したり企画してみんなの交流の場を広げる
- ・ インターネットショッピングを使う
- ・ 自治体ごとに高齢者の人たちの注文を受けて買いに行く（おつかいのボランティア）